

# 口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

## 『学童期の歯列のマネージメント』

日 時 : 2019年6月26日(水) 17:30~18:30

場 所 : 歯学部4階 示説室

演 者 : 福井 和徳 先生

奥羽大学歯学部成長発育歯学講座  
歯科矯正学分野 教授

## 講演抄録

矯正歯科治療では歯列や咬合を整えることから、口元の改善に限らず、調和の取れた顔貌を獲得することも重要な目標である。私が矯正歯科へ入局してから32年が経過した。その間、歯科矯正学では、診断法や材料・装置の開発が盛んに行われ、その結果あらゆる世代で矯正歯科治療が可能となった。とりわけマルチブラケット装置の矯正用ワイヤーに関しては、ニッケルチタニウムワイヤーの登場により治療システムのパラダイムシフトが生じている。

一方、Brodieが1952年に咬合を保持するための条件としてバクシネータメカニズムの重要性を説いて以来、歯列と口腔周囲筋との不調和を修正する様々な療法が行われてきたが、治療効果については未だ根拠が得られていない。

American Journal of Orthodonticsの雑誌タイトルに1985年から「顎顔面整形学」が加えられ、またAmerican Dental Associationは専門分野の名称を「歯科矯正学および顎顔面整形学」に変更した。これは機能的整形法によって筋肉や骨格の不調和を早期に是正する治療手段として顎顔面整形学の重要性が認識されるようになったからである。

今回は、現在奥羽大学で実施している矯正歯科診療システムを紹介し、学童期における各種不正咬合の治療例から効果的なマネージメント法を紹介したい。

尚、本特別講演は大学院講義(口腔科学教育部)を兼ねております。皆様の御来聴を歓迎致します。

連絡先: 口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291) etanaka@tokushima-u.ac.jp